

ヒマラヤのラトナチュリ登頂に成功!!



山頂にいの町旗が
掲げられました



深田洋さん、刈谷範光さん。後右側本峰、左側が西峰。

ヒ マラヤのラトナチュリ (7,128m) の頂を目指して、9月1日にネパールへ向け出発した県山岳連盟登山隊(平均年齢64歳)が10月4日、見事登頂に成功しました。

ラトナチュリは、ネパールのほぼ中央アンナプルナの北側にあり、中国チベット自治区との国境にある山です。

ラトナチュリへの挑戦を決めたきっかけは、3年前に山岳連盟の会長が代わった際、「岳連内部でなにか新しいことに挑戦しよう」という話になり、世界で日本人以外に誰も登ったことのない山がラトナチュリだったから。」とのことで、9名の隊員のう

ち、いの町からは、刈谷範光さん(北山)、深田洋さん(枝川)が挑戦しました。



登 山中、最も大変だったことは、「ベースキャンプ(5,200m)まで18日、ベースより登頂まで15日、延べ33日間は、山を上ったり、下りたりを繰り返し、徐々に高所の環境へ慣らしていったが、標高が高くなるにつれて気圧が下がり、最後まで酸素不足と寒さに悩まされたこと。」だそうです。そのさまざまな苦難を乗り越えて、深田さんは、ラトナチュリの西峰(6,804m)に登頂、刈谷さんと山本誠治さん(高知市)の2名が見事に本峰の頂を極められました。

刈谷さん、山本さんお二人の達成は、信州大とネパール警察の合同隊以来で、世界で2例目の快挙となりました。



登頂に成功した、刈谷さんは、ヒマラヤの頂でいの町旗を手記に記念撮影「着いたぞ〜!!」